

2019 年度日本小児腎不全学会評議員会議事録

日時：2019 年 11 月 28 日（木）10：30～11：30

場所：高知県高知市 三翠園 2 階 五月の間

出席者（敬称略）：長谷川昭、秋岡祐子、芦田明、大田敏之、奥見雅由、香美祥二、川崎幸彦、佐藤裕之、
宍戸清一郎、白髪宏司、杉谷篤、幡谷浩史、服部元史、濱崎祐子、藤枝幹也、堀田記世彦、渡井至彦（以上
17 名、欠席 6 名のうち委任状 5 名）、山本新吾、竹島泰弘（オブザーバー）

第 41 回日本小児腎不全学会藤枝幹也会長の挨拶につづき、以下のように各議題が討議された。

議題

(1) オブザーバー参加の報告と紹介

第 42 回大会長の野島道生会長の代理として兵庫医科大学泌尿器科主任教授の山本新吾先生と同大会の顧問である兵庫医科大学小児科主任教授の竹島泰弘先生がオブザーバーとして参加することが報告され、両先生より挨拶があった。

(2) 逝去会員の報告

酒井糾先生が 2019 年 9 月 14 日に逝去されたことが報告され、黙祷が捧げられた。

(3) 新評議員の挨拶

埼玉医科大学小児科の秋岡祐子先生、札幌医科大学小児科の川崎幸彦先生、東京都立小児総合医療センター泌尿器科の佐藤裕之先生、東京都立小児総合医療センター総合診療科の幡谷浩史先生より挨拶があった。

(4) 会計報告・予算案

2018 年度の会計報告ならびに 2019 年度の予算案が事務局より報告された。会計報告が適正なことが監事である香美祥二先生、宍戸清一郎先生の書面によって報告され、2018 年度の会計報告と 2019 年度の予算案が了承された。

(5) 会員動向

2019 年 3 月 31 日現在の会員数は、正会員 615 名、名誉会長 2 名、名誉会員 23 名であると事務局より報告された。平成 27 年度以降の増加は、学会誌の筆頭著者は会員であることを必須としたためと報告された。

(6) 評議員退任

飯島一誠評議員から退任のご希望があり、承認された。

(7) 評議員の推薦

野口満先生（佐賀大学泌尿器科）、中西浩一先生（琉球大学小児科）が評議員に推薦され、承認された。

(8) 次々期会長の選定

第 43 回会長（2021 年度）に秋岡祐子評議員（埼玉医科大学小児科）が推薦され、承認された。

(9) 編集委員会報告

第 39 巻（2019 年 7 月発行）の掲載論文数について報告された。症例報告数が元のレベルに戻り、看護研究報告が増加したことされた。また、査読システムを導入した第 35 巻から大学図書館からの送付依頼が増加していることが報告された。

(10) 日本透析医学会の公式英文誌である Renal Replacement Therapy 誌を本学会の公式英文誌として採用する提案があることが報告され、手続きを進めることが承認された。

(11) その他

1) 優秀演題の件

優秀演題募集・優秀演題選考についての申し合わせ事項が確認された。

2) 日本小児科学会専門医更新単位認定について

日本小児科学会専門医更新単位認定の手続きについて確認された。

3) 学会収支状況

事務局より、年会費徴収と広告収入獲得の努力により、2015 年度より連続して繰越金が 700 万円を超えていることが報告された。しかし、2019 年 7 月に発行された 39 巻の広告数が大幅に減少したことから、今後も広告収入減少の危惧があることが共有された。

4) 会員構成

事務局より、会員の職種調査を実施したところ、医師 91.4%、看護師 3.6%、臨床工学技士 0.3%、管理栄養士 0.5%、その他 0.6%、不明 3.6%であり、看護師の割合が 2.5%（2018 年度）から 3.6%（2019 年度）へ微増したのは、平成 30 年度から医師以外のメディカルスタッフの年会費を 6,000 円から 3,000 円に減額した効果があるのではないかと報告された。

(12) 次期会長の挨拶

第 42 回会長の野島道生評議員にかわり、オブザーバー出席された山本新吾先生と竹島泰弘先生より準備状況が報告された。

2020 年 12 月 3 日（木）～4 日（金）、大阪市中央公会堂にて開催予定。

日本小児腎不全学会事務局

議事録作成

服部元史

議事録署名

藤枝幹也

秋岡祐子

